



Weekly Report



クラブ・テーマ 「時流にあわせた変化と発展」

会長 小田光司 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 点鐘 12:30～13:30
幹事 田中芳明 事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL.048-758-0680 FAX048-758-0681
会長E 小林利郎 http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小田光司年度 第37回 通算2608例会

平成29年5月11日

会長の時間 第54代会長 小田光司

ゴールデンウィークも終わり普通の生活リズムに戻りましたが、皆様お休みの期間は楽しくお過ごしいただけましたでしょうか？まだ社会復帰できていない方はいらっしゃらないと思いますが、この例会を境にまた気合を入れ直していただけたらと思います。以前に「高潔さと高い倫理基準をもって行動する」とロータリアンの行動規範に書いてあったので高潔と倫理を調べてみたことがあります。高潔とは、人柄がりっぱで、利欲のために心を動かさないこと。また、そのさま。倫理とは、人として守るべき道。道徳。モラル。倫理観とは、倫理についての考え方、捉え方。とありました。普通のことと思えば、普通のことですが、突き詰めると結構ハードルが高いと思います。折角そのような人としてありましようという団体に所属しているのですから、少しでも気をつけたいものです。身近で些細なことで構わないので、出来ることからやってみるといふ思いを常にもっている人が集うクラブであって欲しいと思います。



さて、今例会も前回に引き続き地区研修・協議会の報告会となっておりますが、次年度の情報をしっかり頭に入れてください。本日もよろしくお願ひいたします。

幹事報告 幹事 田中芳明

- 1、地区より国際ロータリー有効地区ローターアクトクラブあてに福島被災地視察・学習ツアーの案内が届いています。日時6月10日(土)6:50分 集合場所ソニックシティバスターミナル
- 2、地区より交換留学生募集要項一式届いています。
- 3、「ロータリーの友」レポート5月号が届いています。
- 4、RI日本事務局財団室NEWS5月号が届いています。
- 5、大宮西RC様、岩槻東RC様より5月の例会予定表が届いています。
- 6、公益財団法人埼玉県腎・アイバンク協会より第28回総会の案内が届いています。
- 7、岩槻ボーイスカウト育成会より年次総会の報告が届いています。以上7点です。



委員会報告

次年度社会奉仕委員会 委員長 中村 正

今年の岩槻まつりは8月20日(日)午後3時より9時まで、さがみ典礼駐車場をメイン広場として開催致します。クラブとしてオープニングセレモニーに参加したいと思います。



会員皆様におかれましては協賛金(一口10,000円)の方の御協力も何卒宜しくお願ひ致します。

副幹事 出山知宏

5月15日(月)午後5時より、ふな又において次年度部門委員長・各委員会委員長副委員長会議を開催致します。対象者の方はご出席をお願い申し上げます。



会員誕生祝

5月

- 5月10日 関根信行会員
5月21日 津多一幸会員
5月27日 田中芳明会員
おめでとうございます



4月21日地区研修・協議会報告

②

公共イメージ部会 田畑寛樹

次年度から従来の「広報部門」から「公共イメージ部門」に名称の変更。「広報」という広範囲なイメージからより具体的な「公共イメージの向上」と目的意識を明確にする為。目標「ロータリーは何をしている団体なのか？」を明確に地域社会に発信できる方法を考えて行動する。



- ① **ロータリーマークのアピール** 様々な奉仕活動の際にロータリーマーク、クラブ名の入った物の掲示。ベスト、ジャンパーの着用等、各団体、マスコミ、一般の方々に印象付ける。
- ② **マスコミ懇談会** 「マスコミ懇談会」を9/15(金)に開催予定。ロータリーの様々な活動に理解を深めてもらうのが目的。
- ③ **地区ホームページの運営** SNSを活用し地区からの情報の発信源の核とする。次年度はバナー広告の募集中止。
- ④ **会員増強維持委員会との共同事業** 「2770地区ロータリーハンドブック」(仮称)の作成。
- ⑤ **地区マスコットの活用** 地区マスコットを活用してクラブイベント等を盛り上げる。
- ⑥ **わがクラブ** 次年度からクラブの奉仕活動等の状況、内容などを写真付きで投稿する。

米山記念奨学部会 関根信行

次年度の米山記念奨学は部門委員長は金杉豊委員長(八潮RC)。1952年、東京ロータリークラブ・米山梅吉翁の生前の功績を称え始めたこの事業は1967年(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されてから、本年7月で50周年の



節目を迎えます。この事業は RI が認めた日本独自の他地区活動で、民間最大の国際奨学事業として 60 年以上の実績があります。そして何よりも世話クラブ・カウンセラー制度があるのが特徴です。優秀な留学生を支援する事で日本という国を理解し、そしてロータリーの良き理解者となり国際社会で活躍し、将来世界と日本の架け橋になる人材を多く育成する事業です。2017 学年度は 780 人（当地区は 34 名）の奨学生枠となっております。皆さま方の更なるご理解と寄付のご協力をお願い申し上げます、現状報告とさせていただきます。

活動方針

・個人平均寄付額 1 人 25,000 以上のお願い（普通寄付 5,000 円：特別寄付 20,000 円）・特別寄付者率 70%以上の目標・全クラブ奨学生の卓話派遣・優秀な学生を採用するため大学との協力関係を深め、積極的にアプローチする。・学友が主催する事業への支援・米山事業に会長を始め多くのクラブ会員に参加して頂く。

ロータリー財団部会 増岡昌行

地区ロータリー財団部門には 7 つの委員会がございます。1. 資金推進委員会（財団の理解を深めて頂くことで資金となる寄付を集める）2. ポリオ・プラス委員会（国際ロータリーの最優先事項でもあるポリオ撲滅のために活動しポリオ・プラス寄付をお願いする）3. 補助金委員会（地区財団活動資金 (DDF) を管理して主にグローバル補助金を使ったプロジェクトを指導し適切なアドバイスを行う）4. 地区補助金運営委員会（地区補助金の理解を広め申請の窓口）5. 財団奨学生・平和フェロー・学友委員会（財団の補助金を使い財団奨学生の募集及び研修、派遣、受け入れクラブ及びカウンセラーの発掘、ロータリー平和フェローの学生とカウンセラーの支援を推進し、それらを終了し財団の学友となった方の管理を行う）6. VTT 委員会（専門職業人のグループを海外に派遣、もしくは受け入れてスキルや知識を提供する）7. 資金管理委員会（財団の補助金に関して財務資金管理を行う）



次年度の地区補助金の申請上限額は 143,034 ドルになります。そのうちクラブ対象プロジェクトとして 90,200 ドルを計上し、1 年以内の比較的短期間の奉仕プロジェクトに使用され、国内外問わず、また人道的プログラム以外にも使用できます。また次年度は、この地区補助金で海外特別枠として 2,000 ドルの海外向けの補助金を 12 件分設けました。この補助金で国際奉仕を多く行って頂き、グローバル補助金を使う為の足掛となればということです。また、財団の補助金を使うプロジェクトとして、グローバル補助金があります。この補助金はさまざまな制約がございますが 30,000 ドル以上の大きなプロジェクトが行える補助金となっております。地区からはぜひグローバル補助金を使ったプロジェクトを行って頂ければということです。また、資金推進委員会からはロータリーカードの加入のお願いがありました。ロータリーカードは年会費や買い物した額から数パーセントの財団への寄付（カードの種類によって違う）がなされるそうですので、ぜひ加入の推進をお願いしますとのことでした。

今年度ロータリー財団寄付目標額

●年次寄付：200 ドル/1 人 ●恒久基金：1,000 ドル 50 名以下のクラブは 1 人・50 名以上のクラブは 2 人 ●ポリオ・プラス寄付 50 ドル/1 人

会員皆様方のご協力をお願いします。

職業奉仕部会 三浦宣之

私自身、職業奉仕委員会に携わることがありませんでしたし、職業奉仕というのはなかなか難しいものだよと聞いたこともありましたので、これを機会に委員長として、職業奉仕とはなんなのか、その理念や活動などを勉強し、理解を深めることができればと思っています。



研修会について、まず始めに田中徳兵衛担当諸問の基調スピーチが行われました。その中で特に強調していたのが、今、この時期に何をしたいのかを明確にしておかないと、手遅れになってしまう。次年度が始まってからでは遅い。そして、心に残るもの形に残るものを作り上げてもらいたい。職業奉仕とは、良い仕事の仕方をする事によって世の中に奉仕することで、ロータリアンは毎日の行動によってすでに実現しているが、しかし、それが世の中に理解されているか？行動を通じて皆さんの職業の価値を高めることを目指してくださいとのことでした。続いて、山内部門委員長から活動方針の発表がありました。ロータリアンは高い倫理性をもってそれぞれの職業に取り組むことも奉仕活動であるという考え方を理解促進し、ロータリーの目的の第 2 項をかみしめる事によって実践的職業奉仕を知り、優れたロータリアンに誘われて入会したロータリアン一人一人が倫理観を達成すべく勉強の機会をそくしていく。そしてさらに人生哲学として個人の内的取り組みという実践以外に、青少年や社会に対して職業を生かした活動も推進していくとのことでした。

最後に「職業奉仕理念の誕生と発展」という DVD が放映されました。その中で職業奉仕の誕生のいきさつがありました。簡単に説明しますと、ある時入会を勧めたドナルド・カーターという人が「ロータリーの仲間だけで仲良くし、自分たちの商売が繁盛することのみを考えていいのだろうか。会員以外の人々に何らかの利益をもたらすことを考えるべきだ。人の尊敬と信頼を受けないような団体は長続きしない」と言って入会を断ったそうです。そして、それを受けてこれまでを反省し、職業奉仕という理念が誕生したそうです。職業奉仕というのはロータリーの真髄であり、ロータリーを他の団体と分かつ要素でもあるということでした。よく他団体、例えばライオンズさんとの違いを聞かれますが、この職業奉仕という理念がロータリー独自のものであり、大きな違いの一つということが学ぶことができました。

国際奉仕部会 原田晃博

次年度活動計画について

- トロン国際大会への参加推進。（2018 年 6 月 24~27 日）
- 交流 30 周年を迎える姉妹地区である韓国 37 50 地区との交流のサポート。
- 海外姉妹・友好クラブからのお客様への接待とおもてなし。



- ①日韓親善会議：2017 年 9 月 23 日 場所：ソウル・ハイアットホテル
- ②日台親善会議：2018 年 3 月 31 日 場所：台湾高雄
- 友好及び姉妹クラブに対し、紹介と支援。

スマイルBOXより

メンバー（50 音順）

菊地 廣 小林利郎 小宮勝男 鈴木 隆 鈴木真樹
 関根信行 田口雅弘 田中芳明 田畑寛樹 出山知宏
 中村 正 増岡昌行 三浦宣之

🌸 たくさんのご芳志ありがとうございました 🌸

スマイル報告	
本日のスマイル合計	17,000 円
年間累計額	733,386 円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
25	15	1	1	68.00%